



# 令和5年度 中野市立高社中学校グランドデザイン

学校教育目標 **思いを**

「**聴こう**」 ○ 高社山のように高く、広く、深い思いと豊かな心を持って『聴こう』

「**語ろう**」 ○ 豊かな表現で真実を伝え『語ろう』

「**創ろう**」 ○ 支え合い磨き合いながら、自ら新しいものを『創ろう』

## 合言葉は「歌声」「命」「学び合い」

【**豊かな心**】めざす生徒の姿

互いの思いに寄り添い・認め・折り合う生徒

重点活動1 「**歌声**を響かせよう！」

- ・ 日常的な心温かいあいさつ・対話・関係づくり
- ・ 個の役割と協働を通して感謝の心の涵養
- ・ みんなで創る素敵な歌声で、心に活気を取り戻す

【**健やかな体**】めざす生徒の姿

互いの安全・健康・命を守る生徒

重点活動2 「**命**を輝かせよう！」

- ・ 睡眠・栄養・運動を意識した命輝く自分づくり
- ・ 安全・安心な生活環境づくりへの貢献
- ・ 体験的な防災・救命活動を通して、命を守る意識を高める

【**資質・能力の育成**】めざす生徒の姿

互いに支え・自分たちの可能性に挑戦する生徒

重点活動3 「**学び合い**を広げよう！」

- ・ 聴き合う関係づくり「ねえここどうするの？」頼ってよい
- ・ わかっていることは丁寧に説明応答・相互支援・協働的な学び
- ・ 学び合いを積み重ねて、仲間と共に課題を乗り越える

【**何ができるようになるか**】

- ・ 学習したことや体験したことを次に生かして学ぶことができる。
- ・ 自分の苦手と向き合い、わからないことを仲間に支援を求められることができる。
- ・ 自分がわかっていることを仲間に分かりやすく説明し支援することができる。
- ・ 自己主張をしながらも、折り合いをつけることができる。

【**何が身についたか**】

- ・ 学習したことや体験したことを次の学習活動と比べたり関連付けたりしている。
- ・ 自分の苦手と向き合い、わからないことは仲間に支援を求めようとしている。
- ・ 自分がわかっていることを仲間に分かりやすく説明し支援しようとしている。
- ・ 相手の思い受け止めながら対話しようとしている。

【**生徒の実態**】

【**豊かな心**】・ 胸が熱くなる素敵な合唱を創り上げたいと願う生徒が多い。

【**健やかな体**】・ 健康でたくましくポジティブ元気に生活したいと願う生徒が増えてきている。

【**資質・能力の育成**】・ わかりたい、できるようになりたい、でも仲間に頼ることがはずかしいと思う生徒が少なくはない。

【**生徒の発達をどのように支えるか**】

- ・ 学年組織の工夫とチーム支援
- ・ 個に応じた生徒理解と寄り添った支援
- ・ 職員間の情報共有(スクリーニング会議、教育支援会議、教科担任者会)
- ・ 外部機関とも連携したチーム対応
- ・ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり
- ・ 教科・領域を横断した体験学習による学びの深まり
- ・ 状況に応じた学習の場と支援の工夫

【**めざす生徒の姿**】

○互いの思いに寄り添い・認め・折り合う生徒  
・ 自分の思いを**歌声**にのせて響かせる

○互いの安全・健康・命を守る生徒  
・ 自分の**命**を大切に強く輝かせる

○互いに支え自分たちの可能性に挑戦する生徒  
・ **学び合い**を広げて、学びを深める

【**何を学ぶか**】

- ・ 教育活動を通じて「聴こう」「語ろう」「創ろう」の実施
- ・ 仲間に支援を求める能力・仲間を支援する能力
- ・ 知識の貯蓄・技能の習得(聴く・話す・書く・読む・打つ力)
- ・ 思考力・判断力・表現力の育成
- ・ 人間性・学びに向かう力の育成
- ・ 新たな価値を創造する力(適応力・想像力・好奇心)
- ・ 対立やジレンマを克服する力(多様性や曖昧さに対応していく)
- ・ 責任ある行動をとる力(自己コントロール・自己効力感・責任感)

【**どのように学ぶか**】

- ・ **学び合い**が始まる授業
- ・ 4人組による活動の積み上げ
- ・ アサーショントレーニングの実施(肯定的な表現で伝える)
- ・ 単元を通して身につけたい力の明確化
- ・ ICT 機器・教材・デジタル教科書の利活用
- ・ 自問(自分の在り方を問う)

【**実践するために何が必要か**】

- 校内指導体制の確認(報連相)と実践・改善 ○家庭や地域との情報共有・連携・協働の強化 ○開かれた学級・学年づくり
- 学校研究(学び合い)・研修(見合う授業・ICT・自問・OJT)の充実 ○全校職員が関わり全校生徒を見守る体制作り
- いじめや差別を許さない人権感覚を磨く日常の意識(言葉・行動) ○義務教育9年間を見通した小中連携体制の構築

【**安全・安心な学校づくり**】

- ・ 安全な日常を守る管理体制(確実な出欠確認・施錠)
- ・ 職員、生徒共に行う学校の安全点検
- ・ 命を守る危機対応(避難・引き渡し訓練や雷対応・救命)
- ・ 自分で判断し適切に行動できる生徒の育成
- ・ 互いを認め安心して生活できる関係(教育相談)

【**開かれた学校づくり**】

- ・ 地域人材、教材、を生かした総合的な学習の時間
- ・ 地域ボランティアによる登校見守り
- ・ 地域の力をお借りする資源回収
- ・ 地域教材を活かした食育